

11

類型論の観点から見るフランス手話の関係節
シャルロット・ハウザー
(パリ・ディドロ大学／ジャン＝ニコール学院 [フランス])

背景

関係節化ストラテジーとは、人間の言語で文によって名詞を修飾するために用いられる文法的な手段を指す。その一つである関係節は、音声言語においても手話言語においても研究者の関心と呼んでいるところである。

後者については、関係節は二つの目的に達するための有効なストラテジーであることがわかっている。全ての類型論的な研究と同様に、一般に我々の言語のメカニズムに対する知見を深める目的が一つ、それに加えて、全ての自然言語と同様に、手話言語も埋め込み文を互いに理論上は無限に作り出す機能を備えているという点を検証することがもう一つの目的である

目的

本発表では、フランス手話の関係節について記述を行う。そのために i) 初めにフランス手話の関係節の統語論を、マクロ的な構造からミクロ的な構造までを視野に入れて概観し、ii) フランス手話の関係節を、等位構造やその他の従属節化であるとするような現在の分析から切り離すことを可能とする新たなデータを示し、iii) フランス手話の関係節の、このような分析を支持する多数の興味深い性質を提示する。最後に、音声言語と手話言語の知見を精緻に追いつけたことによる類型論的な観点からこの研究をまとめ、我々が同定した異なる種類の関係節について統一的な説明を提案する。

基本データ

フランス手話のネイティブ話者二人による、エリテーションのセッションで得られた発話データの分析を通じて、フランス手話では関係節化について少なくとも三つのストラテジーが見られることを示す。関係節マーカによるもの (PI とグロスをつける、(1a) 参照)、人の類別詞によるもの (1b) 参照、ゼロマーキングによるもの (1c) である。この三つのタイプはいずれも、通常は関係節マーカ/主要部に限られる一連の非手指動作を伴って現れる。発表者はまた、我々が抽出したデータの構造の統語的な性質についてコントロールする目的で、wh 移動、量化子による束縛などについてのデータも抽出した。受け入れ可能性と適切さの判断データを収集するためにプレイバック法を用い、各タイプの刺激 (Schenker 2011) について適正な文と構造を判別するための7段階の基準を設けた。

- (1) a. IX-1 PREFER VET ^{rel}PI CURE DOG
 b. IX-1 PREFER VET PERSON-CL ^{rel}CURE DOG
 c. IX-1 PREFER VET ^{rel}CURE DOG
 ‘私はその犬を治してくれる獣医のほうがよい。’

フランス手話の関係節の主要部には、主語から修飾語句までどんな項でもなることができる。ほとんどのフランス手話の関係節は主要部外在型であるが、主要部内在型もあり得る。関係節マーカーと人の類別詞は、語順に関しては同じ位置に現れる。ただし、主要部が複数である場合には、このパターンは異なっている。我々の観察によれば、主要部が複数の場合は、手話語による関係節マーカーは変わらないが、人の類別詞は複数をマークする。

関係節マーカーの性質

関係節マーカーPIに注目すると、これは補文標識というよりは関係代名詞であるという分布的な証拠がある。他の手話言語の関係代名詞と同様に、PIは指示代名詞と多くの性質を共有している。つまりPIは広がった指示的な手の形と方向指示的な動き(+指の開き具合)を有している。また空間的な一致と語順も文の解釈に影響を与えることが観察されている。

マクロ的構造

これらの構造では、関係節マーカーが関係節の左端を区切る主要部型の関係節を例示している。(ここでは示していない)目的語-目的語関係節に見られる語順の事実によって、ここで扱っているのは主要部外在型の関係節であることがわかる。しかし我々は、主要部が関係節の中に残っているケースも確認している。

結論

本発表では、他の言語との比較を通じて、フランス手話の関係節の形態統語的な性質は、意味的な性質と同様に、主要部外在型の関係節を主要部内在型の構造から派生すると分析し得ることを示す。また、一致のパターンのバリエーションと、PIの統語的な位置が、異なる解釈を引き出すことも提示する。このことによって、ここで示したよりもさらに複雑な分析につながる事が考えられる。

参考文献 (一部)

- Caponigro & Polinsky. 2011. Relative embeddings: A Circassian puzzle for the syntax/semantics interface.
 De Vries. 2001. Patterns of relative clauses. *Linguistics in the Netherlands* 18.
 Lehmann. 1988. On the typology of relative clauses. *Linguistics* 24